



一般社団法人全国コンクリート  
圧送事業団体連合会会長

## 佐藤 隆彦

飲食業等に比較して、新型コロナウイルス感染症が建設業界へ及ぼす影響は少ないと見込まれていますが、コロナ禍の長期化により建設需要が減少するといった弊害が生じないことを願っております。

東京オリンピック・パラリンピック事業や災害復興・復旧工事が相次ぎ終息し、需要の低迷をひしひしと感じた旧年でありましたが、年が明けて、大都市圏での再開発工事、リニア中央新幹線や大阪万博などの大規模プロジェクトによる事業効果に期待を寄せられているところです。

コンクリート圧送業は他職種と

# ブランド力と社会的地位向上

同様、技能者の不足と高齢化が進んでおり、外国籍の人材が施工能力をカバーしていますが、長期化するコロナ禍で入国が難しくなり、担い手不足による施工への影響を懸念しています。日本の若い人たちを招き、育て、定着させるために、働き方改革による時間外労働の上限規制の順守と週休2日制の推進について、経営とのバランスをとりながら構築していく必要があります。過酷な作業環境を改善する生産性向上策、当連合会創立期からの目標である業界のブランド力と社会的地位の向上に取り組み、SDGsに貢献できる企業集団を実現したいと考えています。

また、主要原材料や原燃料の高騰によるコストアップという喫緊の課題に加え、技能者の処遇向上と計画的な設備更新を続けていくには、適正な受注価格の確保が重要です。これについては他の専門工事業界とも連携を組み、解決していきたい所存です。

この1年も、関係各方面の変わらぬご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。